

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第35週 (8/24-8/30) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		35週	34週	33週	32週
小児科		18	18	17	18
眼科		5	5	5	4
インフルエンザ*		28	28	24	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	注意報	千葉市				千葉県
			8/24-8/30	8/17-8/23	8/10-8/16	8/3-8/9	8/17-8/23
			35週	34週	33週	32週	34週
小児科	RSウイルス感染症		5 0.28	1 0.06	0 0.00	3 0.17	19 0.14
	咽頭結膜熱		4 0.22	8 0.44	3 0.18	2 0.11	69 0.52
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		17 0.94	14 0.78	26 1.53	32 1.78	148 1.11
	感染性胃腸炎		58 3.22	62 3.44	52 3.06	49 2.72	337 2.53
	水痘		3 0.17	6 0.33	2 0.12	4 0.22	57 0.43
	手足口病	○★★	152 8.44	142 7.89	140 8.24	204 11.33	748 5.62
	伝染性紅斑	↓	13 0.72	18 1.00	14 0.82	15 0.83	82 0.62
	突発性発しん		19 1.06	15 0.83	19 1.12	15 0.83	65 0.49
	百日咳	→	3 0.17	3 0.17	1 0.06	0 0.00	3 0.02
	ヘルパンギーナ		36 2.00	37 2.06	45 2.65	63 3.50	215 1.62
	流行性耳下腺炎		7 0.39	8 0.44	10 0.59	8 0.44	91 0.68
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	0 0.00	1 0.04	1 0.04	6 0.03
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎	◎	8 1.60	2 0.40	0 0.00	3 0.75	44 1.33
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(10件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査	レジオネラ症	男性	40歳代	病原体抗原の検出
結核	男性	90歳代	病原体等の検出	アメーバ赤痢	男性	50歳代	病原体の検出
結核	女性	30歳代	IGRA検査等	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	80歳代	最近の検出及び薬剤耐性の確認
結核	女性	30歳代	IGRA検査				
結核	女性	60歳代	IGRA検査	水痘(入院例)	女性	80歳代	臨床決定(免疫不全状態)
結核	女性	70歳代	画像診断等	-	-	-	-

・結核6件(154)、レジオネラ症1件(9)、アメーバ赤痢1件(5)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(7)、水痘(入院例)1件(2)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

### 定点当たり報告数 第35週のコメント

<手足口病> 前週より増加し8.44となった。流行発生警報開始基準値は上回ったまま。

<伝染性紅斑> 前週より減少し0.72となった。過去10年の同時期と比べると多い。

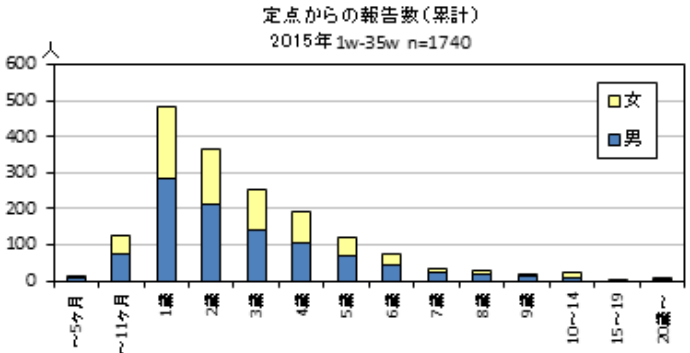
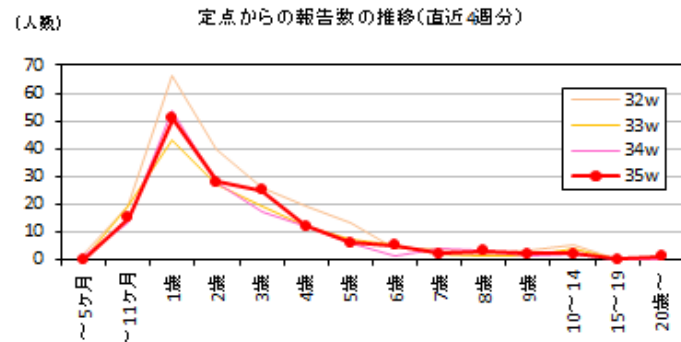
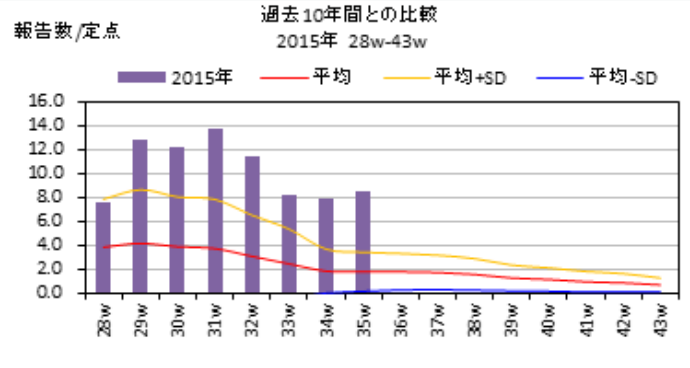
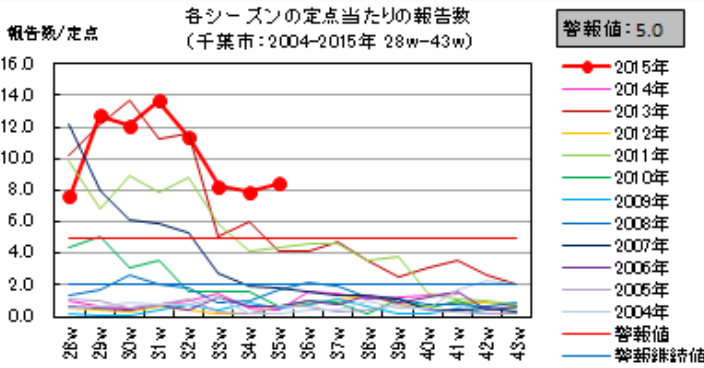
<百日咳> 前週から横ばいで0.17。過去10年の同時期と比べると多い。

<流行性角結膜炎> 前週より増加し1.60となった。過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

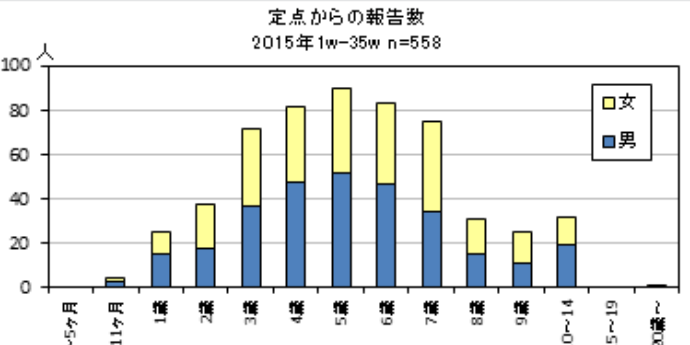
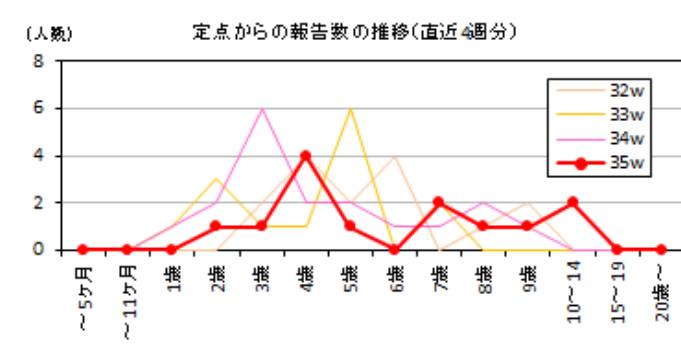
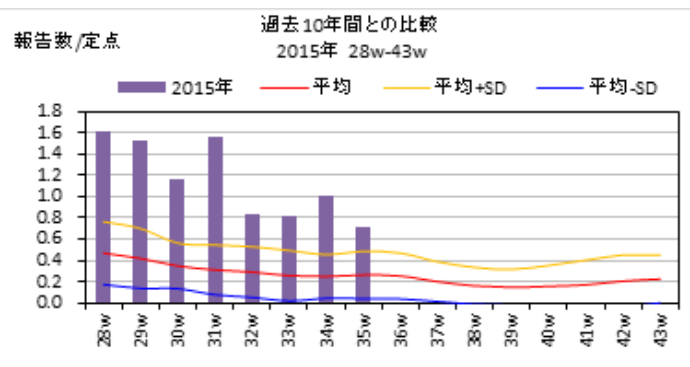
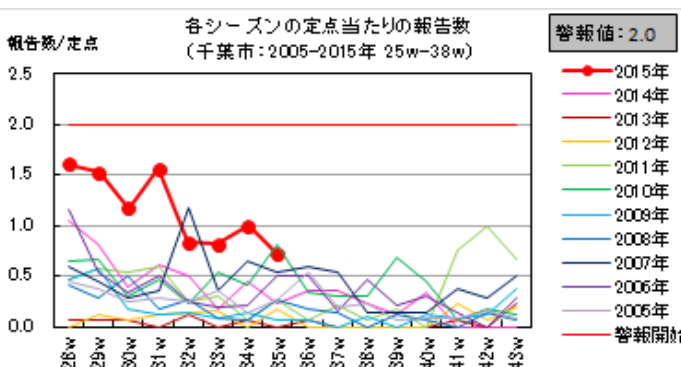
<手足口病>

全国レベルの第34週現在は前週より減少しましたが、流行発生警報開始基準値(5.0/定点)を上回ったままで過去8年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、新潟県、長野県、青森県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同じとなっています。千葉市の2015年第35週は前週から再び増加し8.44となりました。過去10年の同時期と比べると最多で、流行発生警報開始基準値は上回ったままです。区別の発生状況は、稲毛区(18.3/定点)で流行発生警報開始基準値を上回り最多で、同区の1歳及び3歳で最も多く発生報告がありました。他、緑区、若葉区、中央区でも流行発生警報開始基準値に達しています。美浜区は流行発生警報開始基準値を下回りましたが、流行発生警報終息基準値(2.0/定点)を上回っています。2015年第1週から第35週までの累積報告数(n=1740)によると、性別では男性が58.0%(1010名)、女性が42.0%(730名)で、年齢階級別では1歳(27.9%:485名)、2歳(21.1%:367名)、3歳(14.4%:251名)の順に多くなっています。



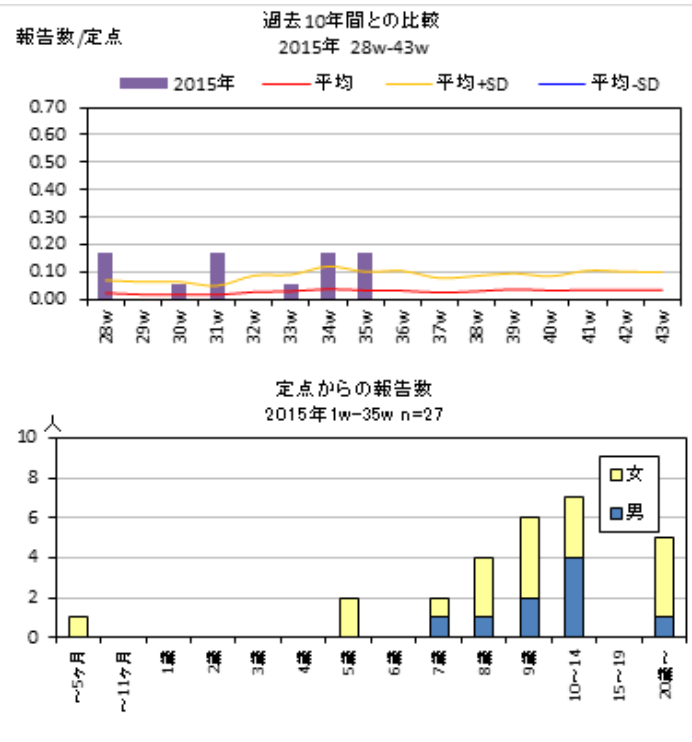
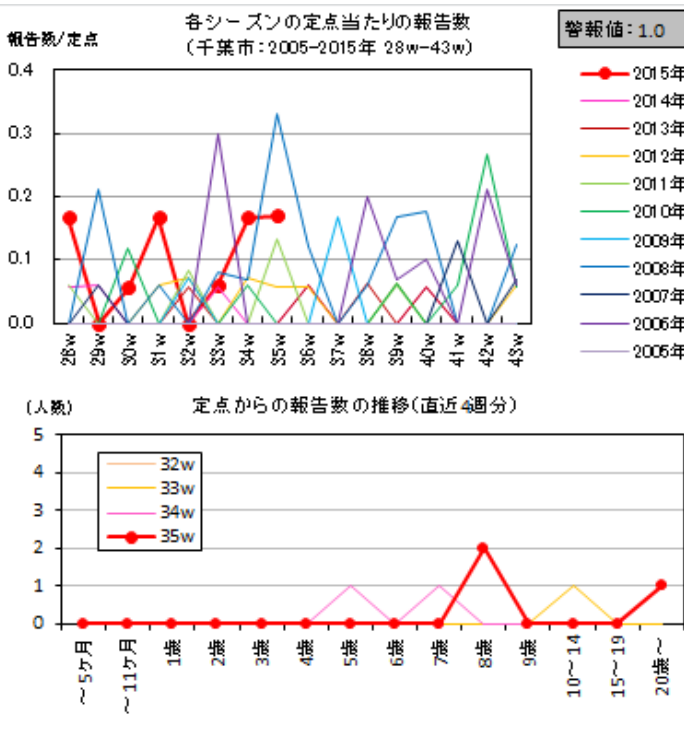
<伝染性紅斑>

全国レベルの第34週現在は前週より大幅に減少しましたが、過去8年の同時期と比べ多くなっています。都道府県別では、大分県、鹿児島県、福岡県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多めとなっています。千葉市の2015年第35週は前週より減少し0.72となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、稲毛区(2.0/定点)で流行発生警報開始基準値(2.0/定点)に達したままで最多で、同区の4歳で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第35週までの累積報告数(n=558)によると、性別では男性が53.6%(299名)、女性が46.4%(259名)で、年齢階級別では5歳(16.1%:90名)、6歳(14.9%:83名)、4歳(14.7%:82名)の順に多くなっています。



## <百日咳>

全国レベルの第34週現在は、過去8年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、沖縄県、群馬県、和歌山県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べてほぼ同レベルとなっています。千葉市の2015年第35週は前週から横ばいで0.17のままで、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、中央区(0.67/定点)で最多で、流行発生警報開始基準値(1.0/定点)は下回りましたが、流行発生警報終息基準値(0.1/定点)を上回っています。同区の8歳で発生報告がありました。2015年第1週から第35週までの累積報告数(n=27)によると、性別では男性が33.3%(9名)、女性が66.7%(18名)で、年齢階級別では10歳代前半(25.9%:7名)、9歳(22.2%:6名)、20歳以上(18.5%:5名)の順に多くなっています。



## <流行性角結膜炎>

全国レベルの第34週現在は、過去8年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、熊本県、長崎県、宮崎県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べて多めとなっています。千葉市の2015年第35週は前週より大幅に増加し1.60となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、若葉区(4.0/定点)で最多で、同区の5歳及び20歳代から40歳代で発生報告がありました。2015年第1週から第35週までの累積報告数(n=92)によると、性別では男性が47.8%(44名)、女性が52.2%(48名)で、年齢階級別では40歳代(23.9%:22名)、30歳代(22.8%:21名)、20歳代(13.0%:12名)の順に多くなっています。

